

取付説明書

ETC車載器

品番 **CY-ET926D**

取り付け・配線の前に、本書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

取付業者様へのお願い

- 取り付け後、この取付説明書は必ずお客様にお渡しください。






お客様へのお願い


- 取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

ETC は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。

内容物の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお近くの「サービスご相談窓口」(→取扱説明書「保証とアフターサービス」)へお申し付けください。

番号	品名	数量
①	 ETC車載器本体	1
②	 アンテナ (コード3.5 m)	1
③	 電源コード (3.5 m)	1
④	 両面テープ	1
⑤	 線材固定テープ	1

番号	品名	数量
⑥	 コードクランパー (線材処理に適宜使用)	3
⑦	 束線バンド	3

■主な添付品

取扱説明書	1
取付説明書(本書)	1

- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

パナソニック株式会社
オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2018





YEFM0412219A F0518-1088

安全上のご注意 (必ずお守りください)


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

説明書に従って取り付けや配線をする

作業は手順通りに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。シガーソケット等による簡易取り付けは、ETCシステム利用規定違反となります。また、製品保証の対象外となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業すると、ショートによる感電やけがの原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業前に車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部のサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。


作業後は、車の電装品^{*}の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

※ ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど


取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

 視界や運転を妨げる場所^{*}、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。

※ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

警告

 車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品^{*}を使わない

制動不能や発火、交通事故の原因となります。

※ ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障、通信エラーの原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ・可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように、配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

分解や改造をしない

分解、改造は、電波法で禁じられているため、罰則を受けることとなります。また、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

分解禁止

注意

しっかり確実に取り付ける


走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。取り付け場所の水気や汚れ(ほこりや油など)は、取り除いてください。取り付け状態(接着など)を、ときどき点検してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に
取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

セットアップする

- セットアップの前に、アンテナが接続されていることを確認してください。

操作手順

音声案内

ランプ

1 車のエンジンをかける (ACCをONにする)

- 本機の電源が入ります。

点灯 点灯

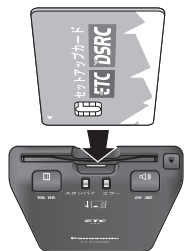


消灯 点灯



ピー
セットアップ
されていません

2 セットアップカードを 挿入する



点滅 消灯



点灯 消灯



ポーン
セットアップ
完了しました

お知らせ

- セットアップは、セットアップ登録店が行う作業です。登録店以外の個人が行うことはできません。
- セットアップカードは、一度使用すると使えなくなります。
- 使用済のセットアップカード、ETCカード以外のカードを挿入すると「ピー カードが異常です カードを確認してくださいエラー05」と繰り返し案内します。(→取扱説明書「異常発生時の案内と対処」)

- 「ピー 管理番号が異常です カードを確認してください エラー05」と案内されたときは

セットアップカードの申請内容と車載器管理番号を照合してください。
正しい場合、セットアップカードまたはETC車載器の不具合が考えられます。
一般財団法人ITS高度化機構または「サービスご相談窓口」(→取扱説明書「保証とアフターサービス」)にご相談ください。

- 「ピー カードを読めません エラー02」

「ピー カードを読めません エラー03」と案内されたときは
セットアップカードの向きを確認のうえ、再度挿入してください。

3 セットアップカードを 取り出す

- セットアップ完了です。

ビピ

消灯 消灯



販売店様・取付業者様へのお願い

- セットアップ完了後に、セットアップシステム端末で「完了通知」を行ってください。

本機の動作確認をする

- セットアップ完了後に、本機の動作確認を行ってください。

操作手順

音声案内

ランプ

1 車のエンジンをかける (ACCをONにする)

- 本機の電源が入ります。

点灯 点灯



消灯 消灯



2 ETCカードを挿入する

ポーン
ETCカードが
挿入されました
カード有効期限は
〇〇年〇〇月です

点滅 消灯



点灯 消灯



3 ETCカードを取り出す

ビピ

消灯 消灯



取り付け・配線の前に

■ご確認ください

- 下記のような車両は、電波を遮へいするおそれがあるため、使用できない場合があります。車両メーカー・カーディーラーに仕様を確認してから作業を行ってください。
 - ・フロントガラスの上にひさしや車両部品(クレーンなど)がある
 - ・ルーフボックスなどを装着している
 - ・電波不透過ガラスや赤外線反射ガラスを装着している
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤動作したり、動作しなくなる場合があります。
- DC12 V/24 V車、 \ominus アース専用です。
- 本機以外の車載器と併用することはできません。本機を取り付ける前に取り外してください。

■取り付け位置について

- GPS アンテナ、各種アンテナ(TVやラジオ)、レーダー探知機など、各種電子機器の近くには取り付けないでください。(レーダー探知機は、特に影響を受けやすいため、本機から離して取り付けてください)
- 車載器本体は、ダッシュボードの上側には取り付けないでください。

■取り付け作業の前に

- 内容物をご確認ください。(→「内容物の確認」)
- 取り付けには、一般工具、メジャー、カッターナイフなどが必要です。

■取り付け・配線時のお願い

- 取り付け・配線は、平らな場所で行ってください。
- 貼り付け前に、設置面および貼付面の汚れ(ごみ・油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いとき(20℃以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 結線は、必ず本書の指示(→「車載器本体を取り付ける」)どおりに行ってください。誤った配線は、誤動作や故障の原因となります。
- コネクターは確実に差し込んでください。外すときはコネクターを持って外してください。コードを引っ張ると破損や故障の原因となります。
- 貼り直しは粘着力が低下しますので、絶対におやめください。
- 両面テープの接着面に触れないでください。粘着力が低下します。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで要所を固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。(→取扱説明書)
- 取り外した車両部品の復元は、確実に行ってください。

■車載器管理番号と型式登録番号は以下の位置に記載されています

- 車載器本体(裏面のラベル)
- 個装箱(側面のラベル)
- 取扱説明書(P.34)

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

作業の順序

1 バッテリーの \ominus 端子を外す

2 アンテナと車載器本体の取り付け・配線をする

- 必ず仮止めをして、取り付ける位置と角度を確認してください。

3 バッテリーの \ominus 端子をもとに戻す

お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、工具を使用してしっかりと締め付けて固定してください。

4 取り付け・配線を確認する

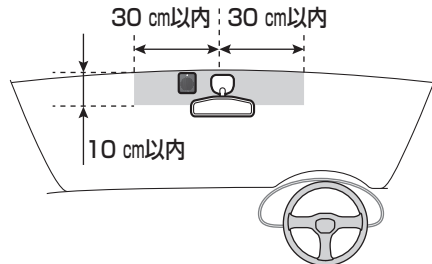
お願い

- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

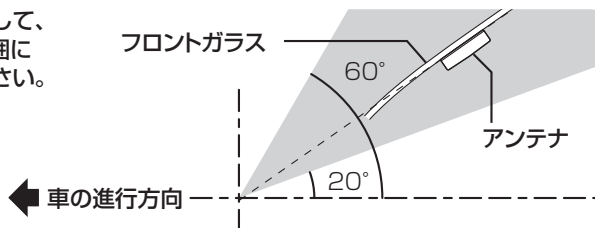
アンテナの取付位置について

フロントガラス上部中央〔取付許容範囲(■部)〕に取り付けてください。

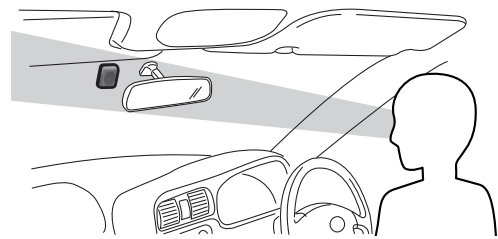
- 検査標章などに重ならないように取り付けてください。
- 取付許容範囲は、国土交通省の定める保安基準*を満たしています。



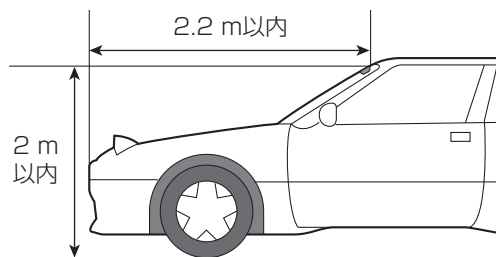
水平面を基準にして、 20° ～ 60° の範囲に取り付けてください。



バックミラーの陰など、運転者の視界の妨げにならない場所に取り付けてください。



右図の範囲内に取り付けてください。



お知らせ

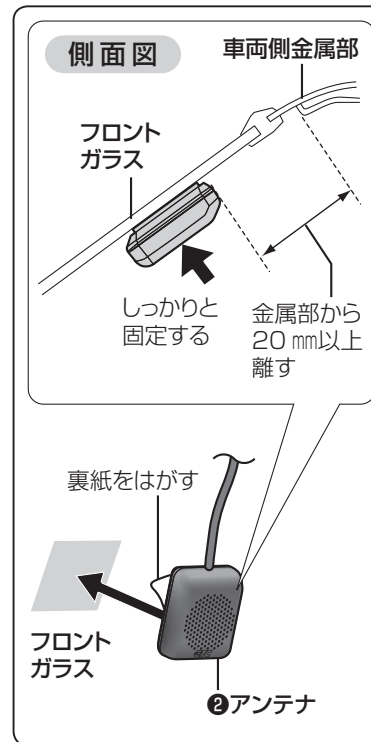
- トラックやバスなど、車種によって上記の範囲に取り付けられない場合は、別売のアンテナ取付けブラケット(CA-AX926D)をお使いください。

*道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)
最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

アンテナを取り付ける

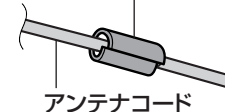
サイドカーテンエアバッグ装着車両については、フロントピラー部とフロントガラスを避けて配線してください。
もしくは、別売のアンテナ取付けブラケット(CA-AX926D)を使用してアンテナを取り付けてください。

1 アンテナをフロントガラスに貼り付ける



コードが落ちないように、線材固定テープをコードに巻き付け、ルーフィングとガラス面の隙間に入れ込む。

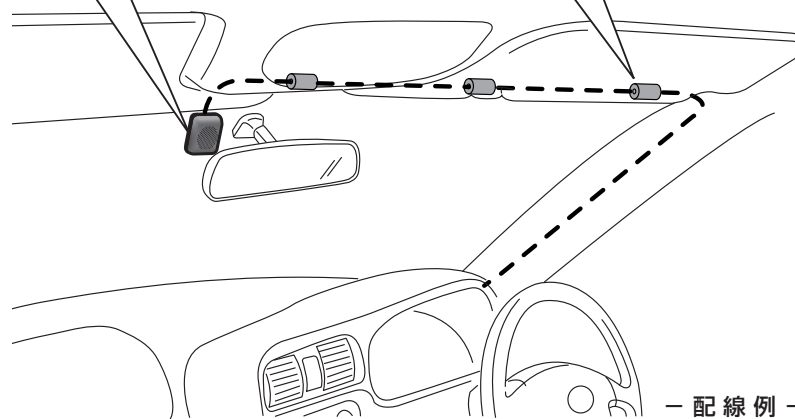
⑤ 線材固定テープ (適宜カットして使用)



コードがガラス面にはみ出すと、保安基準*違反になる場合があります。

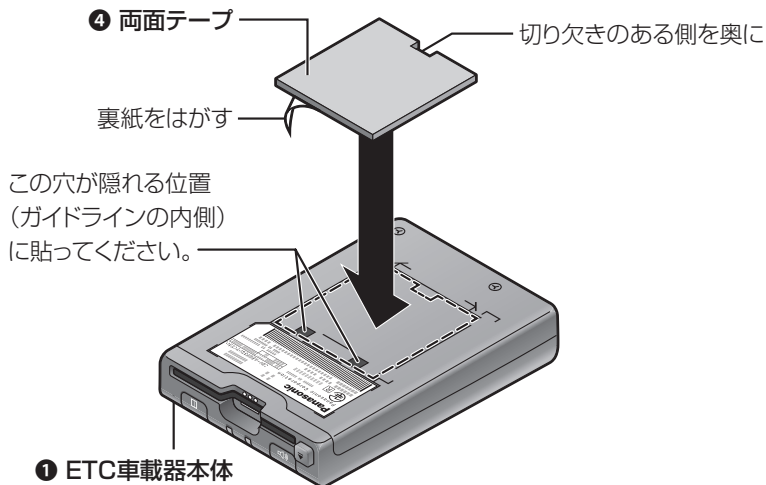
⚠ 警告

- コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障、通信エラーの原因となります。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

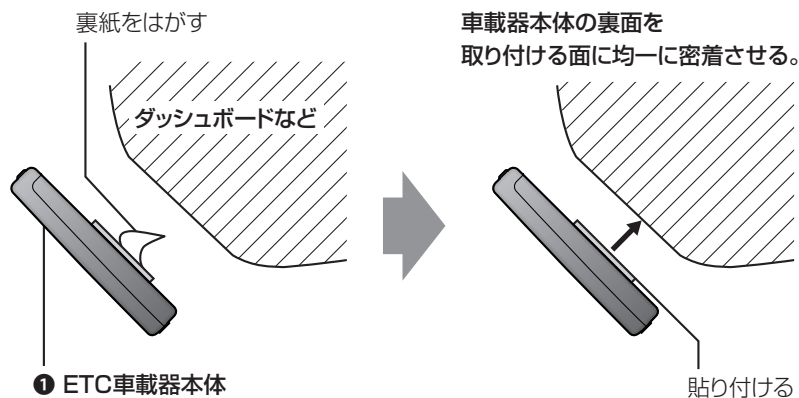


車載器本体を取り付ける

1 車載器本体に両面テープを貼り付ける



2 車載器本体を取り付ける



お願い

- 貼り付け直後は接着力が弱いので、必ず取り付け作業後、24時間以上放置してから使用してください。

お知らせ

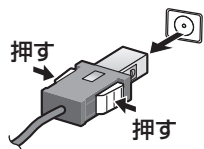
- 車両側の取り付け面の材質や形状により、両面テープで取り付けられない場合は、別売のETC本体取付けキット(CA-FX926D)をお使いください。

3 電源コードを引き回し、配線する

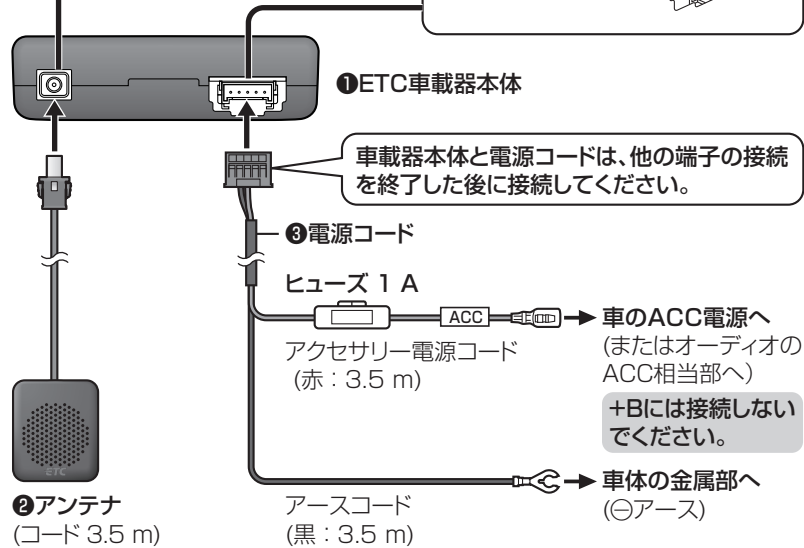
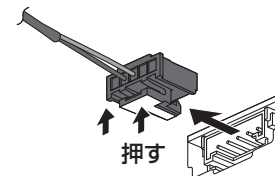


車載器本体、アンテナ、電源コードは、必ず同梱品を使用する
他の車載器のものと組み合わせないでください。
動作不良や故障の原因となります。

■ 取り外しかた
ロックを押しながら、取り外す。



■ 取り外しかた
ロックを押しながら、取り外す。



余ったコードは、束線バンドで運転の妨げにならない場所に固定してください。



車載器本体・アンテナの 取付位置について

2020年1月22日以降に製作された乗車定員10人未満の乗用自動車に取り付けるETC車載器等の内装品は、国土交通省の定める保安基準*1に準拠した取り付けが必要となります。

※1 保安基準 第20条、 細目告示第182条(抜粋)

「インストルメントパネルが、当該自動車が衝突等による衝撃を受けた場合において、乗車人員の頭部等に過度の衝撃を与えるおそれのすくないものであることとする。」

詳しくは、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

国土交通省

<http://www.mlit.go.jp/index.html>

右記の「取付推奨位置」は、保安基準に準拠しています。

取り付け位置を決める際の参考にしてください。

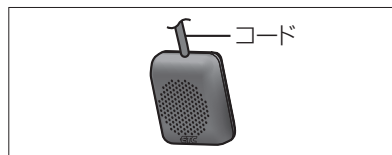
外形形状

左記の保安基準に準拠する為に、衝突等による衝撃を受けた時に乗車人員に接触すると想定される、車載器本体およびアンテナの角部に曲率半径3.2 mm *2以上の丸みを設定しています。

※2 国連「内部突起に係る協定規則(第21号)」参照

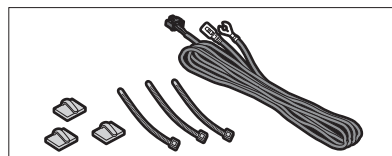
アンテナのコードに曲率半径3.2 mm以上の丸みは設定されていません。

アンテナ



付属品

コード・コードクランプ・束線バンドなどの付属部品に、曲率半径3.2 mm以上の丸みは設定されていません。

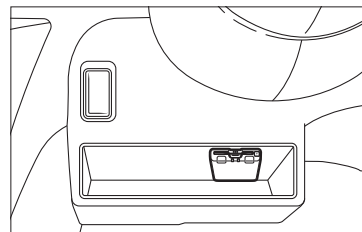


取付推奨位置

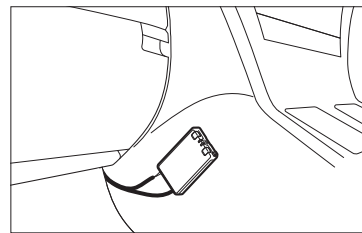
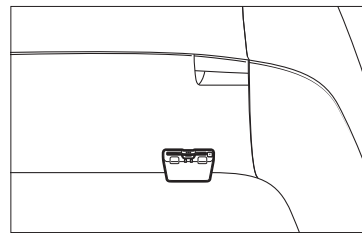
車載器本体

平らで、運転やカードの挿入・取り出しに支障が無い位置に取り付けてください。

① インストルメントパネル(蓋付き・蓋無し)小物入れ内部



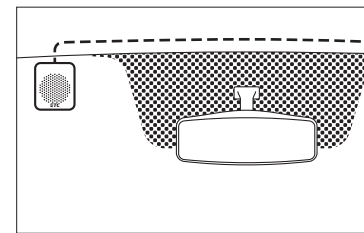
② インストルメントパネルの下側、センターコンソール付近など



- パネル奥側へ配線処理をしてください。
- 乗車時に足が当たらない位置、小物入れの蓋を開けたときに当たらない位置に取り付けてください。

アンテナ

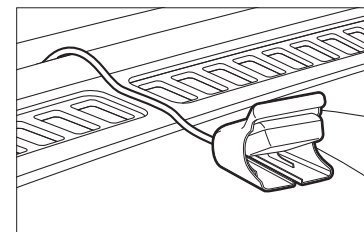
① フロントガラス上部中央への取り付け 取付許容範囲内に取り付けてください。 (→「アンテナの取付位置について」)



コードはルーフライニング内に引き回してください。

(→「アンテナを取り付ける」)

② ダッシュボード上への取り付け 別売のアンテナ取付けブラケット (CA-AX926D)を使用



フロントガラス側へ配線処理をしてください。